



市原市消費生活講座 開催

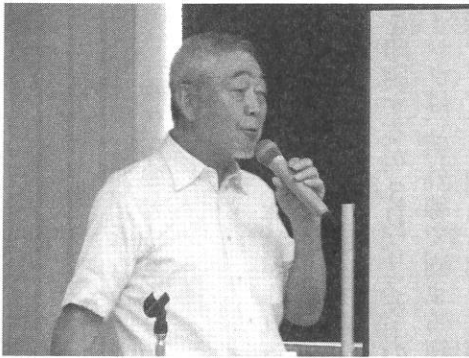
平成26年9月26日金曜日、午後1時30分より市原市経済消費生活センター主催の消費生活講座が「市原市勤労会館Y.O.Uホール」で開催された。



講師には日本靴小売商連盟シューフィッター講師・一般社団法人東靴協会会長の小堤幸雄氏が担当し、「足と靴と健康の意外な関係」と題し行った。受講者は53名で定員の50名をを超える盛況で、熱心に聞き入っていた。講義内容は、はじめに足の骨格の見本を回して、体全体の骨の数206の内、足に占める骨の数は、56と全体の4分の1と多くを占めている。又体全体の表面積の

一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(10月号)

2%が足裏の面積で、そこに全体重がかかっている。歩行時にはさらに2〜3倍ジャンプした時は5〜6倍の重力がかかる。全身の体重を支える足の大切さと重要性を説明した。次に単語の説明として足長・足幅・足囲・足趾・第一趾・第五趾・中足骨・踵骨・トップライン等の位置や機能などの詳細な説明など講義は進む。



さらに足のトラブルについて、靴ずれ、たこ、マメなどは足に合

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

わかないからできる。足の保護、衝撃吸収、通気性などの機能と共に足に合う靴選びが大切になり、とても重要だ。

靴を選ぶ際は必ず両足とも試し履きをして、つま先のゆとり、足が締め付けられたり食い込んでいないかなど、足に合う感覚がとても大切になる。

その靴選びの際お役に立てるのがシューフィッターの資格を持つている販売員だ。足と靴に関して勉強をして取得できる資格で、足に合っている靴選びや、サイズの微調整をしたり、相談にも応えてくれる。是非利用して足に合った靴をお求め頂きたい。その際「このお店にシューフィッターはいますか?」と尋ねて下さい。とお願いをした。

さらに高齢者の摺り足についてや、歩くことによるミルキングアクション効果で若さを保つためにも歩行は大切だと解説。

靴を履くときは、ドレス、カジュアル、ウォーキング、運動などTPOによつて使い分けて欲しい。足に合う靴を心掛けるとともに、つま先にゆとりを持たせ、甲を押さえるなど、紐は正しくきちつと締めるなど、正しく履くことも重要です。特に女性のハイヒールは足への負担が大

きく、2時間以上使用することは避けて頂きたい。フォーマルの席には、楽な靴で歩き履き換えて使用するのも一案。靴にはファッション性と機能性があるので、上手に使い分けて欲しい。

靴の購買はいつが良いのかについては、夕方と言われているが、朝に足がむくんだり、夕方からむくんだり、自分自身の体のクセを知った上でお求め頂きたい。

さらに「足に合った靴はなかなか出合えないものです、履いた時に軽く感じ、ピタリと合った靴と出合った際は、是非手に入れて下さい。」とお願ひし、講義は終わった。

終了後に主催者が、参加者にアンケート調査を行い40通を回収し、ほとんどの参加者は理解し、内容も良く、好印象だと報告が届いた。

近畿靴小売商協会が主催するシューフィッター養成講座が9月18日(水)19日(木)の両日アルフィック大阪3階会議室に於いて40名が参加して開催された。この講座も計測などFHAに沿った形で行った。

カリキュラムは左記の通り。二日間にわたる講義だったが、参加者は熱心に受講していた。今回の講座は、受講者全員が合格した。

★近畿講座開催★

シューフィッター養成

会員訃報

中村久男氏

(有)パリーシューズ会長
兼ねて療養中のところ肺癌にて平成二十六年十月六日ご逝去されました。享年八十七歳



久男氏は1926年(大正15年)11月3日生まれ、一般社団法人東靴協会(北支部所属)、日本靴小売商連盟現顧問、日本靴連盟元会長。

在職中は社団法人東靴協会・日本靴小売商連盟会長として平成17年度から平成22年度迄務め、その後、顧問に就任。シューフィッター委員会委員長の

役職で養成講座の改革を行い、全国でシューフィッターを育成、技術指導員、講師養成に実績を上げた。事業財務規約委員会を発足させ、収益事業の拡大を図り、新たな不動産を取得。就業規則等を整備。公益法人改革による一般社団法人への移行準備を早くから検討させその礎を築くなど業績は多大。

また、協会創立60周年祝賀会を催し、盛会なものでした。葬儀は10月6日に通夜、7日に告別式を北区上中里の城官寺で行い多数の参列者が別れを惜しんだ。

また、協会創立60周年祝賀会を催し、盛会なものでした。葬儀は10月6日に通夜、7日に告別式を北区上中里の城官寺で行い多数の参列者が別れを惜しんだ。

第49回 I S F 開催

ISFセミナーより 3Dプリンター アナログとデジタルの融合 で世界を変える

講師 原雄司氏
(株)ケイズデザインラボ社長

エフワークス(株)の主催・運営で行っている第49回ISF(靴と雑貨の国際展示会)が9月24日(水)より26日(金)迄、池袋サンシャインシティ文化会館で開催された。

3日間の来場者は4093名を数えた。出展社数は115社で、国内から65社、海外からはドイツ12社、中国15社、台湾9社他にトルコ、バングラディシユなど50社が参加し、靴と雑貨として国内最大規模の展示会となる。今回は特集企画として、靴の企画・デザインに利用する「3Dプリンター」。人と環境にやさしい天然皮革「日本エコレザー」。靴やバッグ業界に人材を送り出している7校から19名の個性あふれる作品の「学校OBクリエイター」の3つを取り上げた。業界の将来につながるテーマとして、来場者の関心が高かった。

3Dプリンターとは「デジタルデータを元に立体物が作れるプリンター」だ。一般的なプリンターはインクを使って文章や写真を印刷するが、3Dプリンターのインクは、紫外線で固まる樹脂、冷やすと固まる溶けた樹脂、接着剤入りのインクを使って石膏を固めるものなどがあり、固まるというのがポイントで、固まるから立体物ができる。ではどうやって形ができるのでしょうか?医療用のCTスキャンは体を輪切りにした写真を、少しずつ、ずらしながら撮っていきます。3Dプリンターの印刷は、CTスキャンと逆に、輪切りを層のように積み重ねていって立体物を作るのです。パソコンから写真を印刷するには、デジタルで撮影した写真のデータが必要で、3Dプリンターでは、立体的なデータを呼び込める3Dスキャナーが必要で、例えば足型をとるには、モデルの足を360度3Dスキャナーで撮影し、そのデ

ータをパソコンに取り込みます。それを処理してプリンターで出力すると、モデルの足型が再現されます。それを元に木型の製作などへと進めるわけです。

さて、講師の話に戻ります。靴における3Dプリンターの活用だが、まだ革靴の3Dプリンターの事例はないが、例えば革の粉末材料を使うなどが考えられる。3Dプリンターの出現は、決して産業革命的なものではない。しかし3Dデータを使いこなす個人デザイナーの登場が、既存の仕組みを転換しかねない。製造業そのものは残っても、異業種からの参入でプレイヤーが入れ替わることは考えられる。その意味ではピンチかもしれないが、考え方ひとつでチャンスにもなる。

今回のISFでは、「3Dプリンターでデザインが変わる。靴が変わる」というテーマでコーナーが設けられていた。サンプルの色、柄などがデジタル的に容易に変えられ、カラストワッチではわからない部分までも表現されていた。また、レーザープリンターを駆使して革に直接プリントするという新しい技術も紹介されていた。子供用サンダル(クロックスのような雰囲気、

素材感)の制作実演が行われており、簡単?にできてしまった

足のトラブルを解消する 靴選びのポイント

ポイント

JCHO東京新宿メディカルセンター
理学療法士・リハビリテーション士長
田中尚喜氏

日本靴小売商連盟のシューフィッター講座でお世話になっていた田中先生の講座が開催されていた。

現在、靴が原因、要因と思われる病態が見られる。

外反母趾(偏平足、開帳足)

朝起きがけの踵の痛み(有痛性踵骨棘、踵部脂肪褥炎)

受難の時代・足の横幅が細い方、widthが少ない方

(外反母趾、偏平足、外反偏平足、開帳足、足底腱膜炎、有痛性踵骨棘、爪甲下血腫、脂肪褥炎)

では、このようにならないようにするには、どんな靴を選べばよいか?その条件は?

- 1、靴底はまっすぐか?
- 2、カウントはしっかりしているか?
- 3、アッパーはソールに真っ直ぐ

に付いているか?
4、シャンクはしっかりしているか?

5、トゥブレイクは適切な位置にあるか?

6、適度な重さがあるか?

7、足にフィットしているか?

と説明されている。これは消費者が一般的に良い靴と思っている「軽い靴」「やわらかな靴」「履きやすい靴」と相いれない考えである。店舗で販売するときに、あからさまに顧客の意見を否定しては気分をそこね、顧客を失うことになるが、足に詳しい医療関係者には、上記のような意見を持つ先生もいる、と笑顔で接してみたらどうだろう!

「田中尚喜の正しい歩き方」
1、視線に足が見えないよう
2、背筋は伸ばす
3、腕は振らない
4、小股で
5、膝は曲げない
6、踵からついて、母趾の指股で蹴る

1日一万歩や、大股で一生懸命歩くというのは、中高年には負担が重く、結局三日坊主で終わりがちだ。「Walking」の和約は散歩であり、気楽に散歩を楽しもうという勧めで、気楽になった講座であった。

業界情報

アジア市場が

日本ブランドに求めている事

FW誌9月号に、標記のタイトルで左記のような警鐘を投げかけていた。

「消費者は国内メーカーに何を求めているのか。」消費者といつても、日本の消費者だけではない。中国を含むアジアの消費者全体だ。

低品質の安物商品は、中国製品に代表され、中国製品はアジア市場にあふれている。

一方、アジアの消費者が日本ブランドに求めているのは、安心安全、高品質、高デザインの商品だ。これらは全て中国製品が基準になっている。中国製品より安心安全で、高品質で長持ちし、デザインの良い商品を求めている。

日本国内の消費者も同様だ。激安商法の同質化した中国製商品ではなく、安心安全、高品質、高デザインの商品を探している。

我々日本は、アジアの消費者ニーズに答えているだろうか。中国製品よりも品質の低い、東南アジア製品など誰が欲しがっているだろうか。

ブームのように東南アジアに殺到する商社やメーカーも、一度考えて頂きたい。

ジーフット新社長に聞く

FW(フットウェア・プレス)9月号に(株)ジーフットの新社長になった神谷和秀氏のインタビュー記事が掲載されていたので抜粋し掲載する。

ジーフットはイオングループ会社で、現在771店舗、社員数約1400人(パート社員等含めると約7000人)、年商1000億円の規模。方針として次の4つのシフトを掲げている。

都市シフト:人口の集中している首都圏近郊、名古屋、大阪地区に60~70店舗の出店を予定。

シニアシフト:健康を切り口にシニアに履き良い靴を提供。定年退職し消費行動も変化する、55歳以上を対象にしてウオーキングシューズなど膝に負担のかからない靴などを提案して行く。

アジアシフト:現在中国の北京、天津に9店舗を展開しているが、今後は中国、アセアンに積極的に出店。

デジタルシフト:アイパッドを通して771店舗の店長とエリアマネージャーが、販売方法、販促手段、レイアウトなど効果的な情報を共有化しスピーディーに対応。今はEコマースの全売上げは5%以下だが、さらに伸びる余地はある。実現の為に人材育成を含めきちんとした

形を進めたい。

また、重点シヨップを、アスビーアスビーファムグリーンボックス・フエミニスカフェ、に絞って展開して行き、アスビー・フエミニスカフェはモール内や路面に出店。グリーンボックスは、イオンやダイエーなどGMS(総合スーパー)の中に出店。小商圏向けにはファミリー対応のアスビーファムを展開して行く。今後それぞれのカテゴリーの中でレベルアップを図る必要がある、接客力の強化も進め積極的に取り組んで行く。現在国内の靴市場のシェアはまだ8%程度ですが、当面の目標として10%に伸ばし2020年頃には15%迄伸ばしたい。



中央支部

中央支部(井本欽男支部長)では9月19日(金)中央区晴海「ホテルマリナーズコート東京」に於いて定時総会を開催した。来賓には当協会小堤幸雄会長、佐宗秀行専務理事をお招きし合計10名の参加で行った。森副支部長の司会で進行し、井本支部長を議長に選出し議事に入った。平成25年9月1日より平成26年8月31日迄が事業年度となり、事業報告、収

支会計報告、監査報告と進み、次年度の事業計画案、収支予算案が上程され担当者から説明の後、全ての議案は満場一致で承認された。引き続き行った懇親会では、小堤会長に挨拶と乾杯の音頭をお願いし、スタートした。一年ぶりに合う会員もおり、挨拶を交わしたり、近況を語ったりと楽しいひと時を過ごした。



世田谷支部

世田谷支部(田中省二支部長)では毎年恒例の秋の親睦旅行を九月十七・十八日の二泊二日で「奥只見湖方面のはとバスの旅」を行なった。6名の参加支部員は朝7時

45分に集合場所の新宿駅西口に集合、バスは関越道で昼食場所の塩沢「田畑屋」へ、名物へぎそばを堪能し、八海山ロープウェイで展望台へ、あいにくの曇天で期待の大パノラマは望めなかったが、スケールの広さは感じた。次の西福寺開山堂では越後のミケランジェロと呼ばれる石川雲蝶の彫刻が素晴らしかった。宿泊地の大湯温泉では、ゆつくりと温泉に浸かり日頃の疲れを癒した。



翌日はダム建設の為に開通したほとんどがトンネルの道で奥只見湖へ向かい、遊覧船に乗船。二面のススキや、秋風を満喫した。途中「魚野の里」で郷土料理で昼食をとり、神秘的な「竜が窪の池」を散策し、帰路に着いた。親睦を深め思い出に残る二日間だった。

理事会だより

平成二十六年九月二十二日
午後2時、西村記念ホール

司会の川上副会長より、本日より親和会をこの会合後に開催する旨連絡をし、小堤会長より挨拶が有り、出席人数30名の確認後、議事に入った。

一、「靴の記念日」の結果について報告

佐宗専務理事より、お買物券の回収状況について232枚、116万円、77.3%とまずまずの実績であると報告。

二、「靴まつり」の途中経過

佐宗専務理事より、応募状況は始まったばかりだが約780通が着ている。と報告。

三、シューフィッター

養成講座の大阪最終結果

について報告

会長より、40名の受講者があり、東京からは木内二郎講師が出張、FHA養成講座の講義と同様の足型計測、フィッティングを紹介した。今回が日本靴小売商連盟、近畿靴小売商協会として最終の講座になる旨報告。

四、催事・広報委員会の報告

栗原茂副会長より、「とうくつ」の編集内容とミラノ・ミカムでのカジュアルサンダルの機能、デザインの話があり、また、セブン&アイ鈴木会長の増税後のコメントなどの紹介があった。

五、教育・研修委員会

からの報告

矢代副会長より、来年の工場見学の予定を検討中である。インジェクションの製法見学についてはまだ達成されていないので委員会としては「ボンステップ」を生産している大塚製靴八日市場工場を見学候補(来年2月18日予定)に挙げていると報告があった。

六、ビル関係について

会長より、不動産会社から買い手売り物を紹介されているが、今検討し様子見で行くとの報告があった。一同、了承した。

七、事務局役員の

雇用契約について

会長より、平成23年制定の就業規則(定年条項)に法理佐宗専務理事を嘱託職員としての契約に変更することを提案した。使用人兼務役員として変わりなく勤務する。また、今回初めてのケースとなる為、その内容について詳細なる説明のあと、議場に賛否を求めたところ、満場一致で決議された。

社名	3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期	
チヨダ	売上比(%)	1.5	-8.31	-3.3	-9.1	-4.2	1.1	-1.6
	客数(%)	-4.4	-4.3	-3.4	-8.9	14.7	6.4	-6.3
	客単価(%)	2.0	3.3	0.9	1.4	2.8	8.4	4.9
ABCマイト	店舗数	1106	1108	1103	1102	1101	1093	
	売上比(%)	23.9	2.6	10.4	0.7	5.9	8.5	8.5
	客数(%)	16.3	-2.6	4.9	-3.1	0.9	1.0	2.7
Gフット	客単価(%)	6.5	5.4	5.2	4.0	4.9	7.4	5.7
	店舗数		767	769	770	772	769	
	全店売上比(%)	30.2	-0.5	5.6	-7.1	2.8	12.1	7.1
	既存店売上比(%)	18.5	-9.4	-3.4	-14.1	-5.6	2.9	-1.9
	店舗数	753	766	771	787	794	792	

(チヨダ・ABCのデータは既存店)

急募

生命共済会 新規加入者募集!

当協会生命共済会制度

☆解散の危機に直面☆

加入会員数が団塊世代の高齢化によって急速に減少し、このまま推移すると、団体定期保険制度の条件を満たせません。50歳までの方ならば毎月200〜400円の掛金で100万円の保険金が保障されます。ぜひとも新規加入のご協力をお願いいたします。

景況についてのアンケート結果 (対象月…26年9月)

▶ 全体的な業況		
良	いい	7.6%
悪	悪い	46.2%
	変わらず	46.2%
▶ 売上げ		
前月比	増えた	30.8%
	減った	38.4%
	同じ	30.8%
前年同月比	増えた	23.0%
	減った	46.2%
	同じ	30.8%
▶ 販売価格は前月比		
	騰貴した	30.8%
	下落した	0.0%
	同じ	69.2%
▶ 販売経費は前月比		
	増えた	30.8%
	減った	0.0%
	同じ	69.2%

東京都中小企業景況調査 [8月]

業況：後退局面に傾く
見通し：回復への期待にかけり

卸売業			業況			
対象数	回答数	回答率	8月		今後3か月間見通し(当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
875	380	43.4%	-100	0	100	100
衣料・身の回り品	1. 男子服					
	2. 婦人・子供服					
	3. 靴・履物					
	4. かばん・袋物					
	5. 装身具・身の回り品					
小売業			業況			
対象数	回答数	回答率	8月		今後3か月間見通し(当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
875	277	31.7%	-100	0	100	100
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具					
	2. 男子服					
	3. 婦人服					
	4. 子供服					
	5. 靴・履物					
	6. かばん・袋物					
	7. 雑貨・身の回り品					
	8. 時計・眼鏡					
	9. ジュエリー製品					

靴専門店大手3社報告
大手三社の売上速報から本年3月から8月までの月別の売り上げ推移を、上記の表にした。3月は増税前の駆け込み需要で各社伸ばしたが、4月以降落ち込みが大きく既存店ベースでかなり厳しい数字となっている。客単価は各社とも増税分以上伸ばした。

**シューフィッター
養成講座受講者募集**
開催日：平成27年1月21日(水)〜23日(金)
会場：蔵前皮革年金会館
◎資格を身に付け実践にお役立てください。
お申込み協会事務局迄
電話・03-325215656